

地域計画

策定年月日	令和7年4月1日
更新年月日	令和7年4月1日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	下松市 (35207)
地域名 (地域内農業集落名)	米川地区 (大藤谷・道谷・温見・後山・瀬戸・高垣・黒宮・中瀬・ 下谷1区・下谷2区・下谷3区・菅沢・山高・西平谷・清若・赤谷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	37.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	35.1 ha
② 田の面積	35.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	10.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	24.5 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	15.2 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地域の農地面積は、狭小で経営規模も小さく、かつ、昭和40年代の高度経済成長期から恒常的勤務による兼業化が進み、担い手の不足及び高齢化が進んだ。また、ほ場整備が行われていない山間地域では耕作放棄地が増加しつつある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・農業経営の改善による望ましい経営の育成を図るため、土地利用型農業による経営の安定を図ろうとする意欲的な農業者に対しては、農業委員会等による農地情報等の収集活動などを強化し、農地の出し手と受け手に係る情報を把握して、両者を適切に結び付けて利用権設定等を進める。また、これらの農地の流動化に関しては、土地利用調整を行うことで地域の機能を強化し、農業経営の集団化及び連担団地化を進め、担い手に農用地が利用集積されるよう努める。特に、農用地の利用集積を進めるに当たっては、農地中間管理事業の推進に関する法律第2条第3項の規定による農地中間管理事業の積極的な活用を図り、地域ごとの農用地の利用の実態に配慮して農用地の利用の効率化・高度化を推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本とし、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12	%	将来の目標とする集積率
			12 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・関係機関・団体が連携し、地域計画の策定を通じ、地域の合意形成を図りながら、面としてまとまった形での農用地の集約化を進めることにより、団地面積の増加を図るとともに、担い手への農用地の集積に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員会及び農地利用最適化推進委員等と連携し、農地中間管理機構を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農地中間管理機構を有効活用し、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際、農業委員会及び農地利用最適化推進委員等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
・各種事業により農業生産基盤整備を促進する。また、効率的かつ安定的な農業経営を目指す者が経営発展を図っていく上での条件整備を図っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・農業の将来を担う幅広い人材の確保に向け、職業としての農業の魅力等を発信するとともに、雇用されて農業に従事する者、定年退職後に農業に従事する者、他の仕事と兼ねて農業に従事する者など農業生産に関わる多様な人材に対して、地域に定着し活躍できるよう必要な情報の提供、受入体制の整備、研修の実施、交流会の実施等の支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・農作業の受託を行う農業者の組織化の推進、共同利用機械施設の整備等により、農作業受委託の促進に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	31経営体		37.9 ha	0 ha		37.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	大藤谷A	水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	1.2 ha	0 ha	大藤谷A	
2	認農	大藤谷M	キノコ類	1.8 ha	0 ha	キノコ類	1.8 ha	0 ha	大藤谷M	
3	認農	赤谷J	ハウレンソウ	1.4 ha	0 ha	ハウレンソウ	1.4 ha	0 ha	赤谷J	
4	認農	赤谷P	キュウリ、ハクサイ、ニンニク	0.2 ha	0 ha	キュウリ、ハクサイ、ニンニク	0.2 ha	0 ha	赤谷P	
5	利用者	大藤谷B	水稲	1.0 ha	0 ha	水稲	1.0 ha	0 ha	大藤谷B	
6	利用者	大藤谷C	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	大藤谷C	
7	利用者	大藤谷D	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	大藤谷D	
8	利用者	大藤谷E	水稲	4.8 ha	0 ha	水稲	4.8 ha	0 ha	大藤谷E	
9	利用者	大藤谷F	水稲	1.1 ha	0 ha	水稲	1.1 ha	0 ha	大藤谷F	
10	利用者	大藤谷G	水稲	1.8 ha	0 ha	水稲	1.8 ha	0 ha	大藤谷G	
11	利用者	大藤谷H	水稲	1.7 ha	0 ha	水稲	1.7 ha	0 ha	大藤谷H	
12	利用者	大藤谷I	水稲	2.2 ha	0 ha	水稲	2.2 ha	0 ha	大藤谷I	
13	利用者	大藤谷J	水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	0.8 ha	0 ha	大藤谷J	
14	利用者	大藤谷K	水稲	1.7 ha	0 ha	水稲	1.7 ha	0 ha	大藤谷K	
15	利用者	赤谷A	水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	赤谷A	
16	利用者	赤谷B	水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	1.2 ha	0 ha	赤谷B	
17	利用者	赤谷C	水稲	1.8 ha	0 ha	水稲	1.8 ha	0 ha	赤谷C	
18	利用者	赤谷D	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	赤谷D	
19	利用者	赤谷E	水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	赤谷E	
20	利用者	赤谷F	水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	赤谷F	
21	利用者	赤谷G	水稲	1.5 ha	0 ha	水稲	1.5 ha	0 ha	赤谷G	
22	利用者	赤谷H	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	赤谷H	
23	利用者	赤谷I	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	赤谷I	
24	利用者	赤谷K	水稲	1.8 ha	0 ha	水稲	1.8 ha	0 ha	赤谷K	
25	利用者	赤谷L	水稲	0.9 ha	0 ha	水稲	0.9 ha	0 ha	赤谷L	
26	利用者	赤谷M	水稲	1.3 ha	0 ha	水稲	1.3 ha	0 ha	赤谷M	
27	利用者	赤谷N	水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	赤谷N	
28	利用者	赤谷O	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	赤谷O	
29	利用者	赤谷Q	水稲	1.4 ha	0 ha	水稲	1.4 ha	0 ha	赤谷Q	
30	利用者	赤谷R	水稲	2.7 ha	0 ha	水稲	2.7 ha	0 ha	赤谷R	
31	利用者	赤谷S	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	赤谷S	